



MSO アプリケーションのアップグレード またはダウングレード

- [概要 \(1 ページ\)](#)
- [前提条件とガイドライン \(1 ページ\)](#)
- [Cisco App Store を使用した MSO アプリケーションのアップグレード \(2 ページ\)](#)
- [MSO アプリケーションを手動でアップグレード \(5 ページ\)](#)
- [MSO アプリケーションのダウングレード \(8 ページ\)](#)

概要

ここでは、Cisco Nexus Dashboard に導入されている Cisco マルチサイト オーケストレータ リリース 3.2 (1) 以降をアップグレードまたはダウングレードする方法について説明します。

VMware ESX VM または Cisco アプリケーション サービス エンジンに導入されている以前のリリースを実行している場合は、マルチサイト オーケストレータ 導入ガイドの「[Nexus ダッシュボードへの既存のクラスタの移行](#)」の章の説明に従って、新しいクラスタを導入し、既存のクラスタから設定を転送する必要があります。

前提条件とガイドライン

Cisco Nexus マルチサイト オーケストレータ クラスタをアップグレードまたはダウングレードする前に、次の手順を実行します。

- リリース 3.2 (1) より前のリリースからのステートフルアップグレードはサポートされていないため、クラスタを再展開し、既存の構成バックアップを復元する必要があります。
- 現在の Nexus ダッシュボードクラスタが正常であることを確認します。

Nexus ダッシュボードクラスタの状態は、次の 2 つの方法のいずれかで確認できます。

- Nexus ダッシュボード GUI にログインし、[\[システム概要 \(System Overview\)\]](#) ページでシステムステータスを確認します。

- いずれかのノードに直接 `rescue-user` としてログインし、次のコマンドを実行します。

```
# acs health
All components are healthy
```

- 現在の マルチサイト オーケストラが正常に動作していることを確認します。
- MSO アプリケーションのアップグレードは次のいずれかの方法で実行できます。
 - [Cisco App Store を使用した MSO アプリケーションのアップグレード \(2 ページ\)](#) の説明に従って、Nexus ダッシュボードの App Store を使用します。

この場合、Cisco DC App Center は、管理ネットワークを介して直接、またはプロキシ設定を使用して Nexus ダッシュボードから到達可能である必要があります。Nexus ダッシュボードのプロキシ設定については、『*Nexus Dashboard User Guide*』を参照してください。

App Store では、アプリケーションの最新バージョンにのみアップグレードできることに注意してください。
 - [MSO アプリケーションを手動でアップグレード \(5 ページ\)](#) で説明されているようにこのセクションの説明に従って、新しいアプリケーションイメージを手動でアップロードします。

この方法は、DC App Center への接続を確立できない場合、または使用可能な最新リリースではないアプリケーションのバージョンにアップグレードする場合に使用できます。
- ダウングレードワークフローは手動アップグレードプロセスに似ており、[MSO アプリケーションのダウングレード \(8 ページ\)](#) で説明されています。
- リリース 3.2 (1) より前のリリースへのダウングレードはサポートされていません。

以前のリリースにダウングレードする場合は、そのリリースでサポートされているプラットフォームに新しいマルチサイト オーケストラ クラスタを展開し、古い設定のバックアップを復元する必要があります。リリース 3.2 (1) 以降で作成されたバックアップを古い MSO クラスタに復元することはサポートされていません。

Cisco App Store を使用した MSO アプリケーションのアップグレード

ここでは、Cisco マルチサイト オーケストラ リリース 3.2 (1) 以降をアップグレードする方法について説明します。

始める前に

- [前提条件とガイドライン \(1 ページ\)](#) で説明している前提条件をすべて満たしていることを確認します。

- Cisco DC App Center が Nexus ダッシュボードから管理ネットワーク経由で直接、またはプロキシ設定を使用して到達可能であることを確認します。

Nexus ダッシュボードのプロキシ設定については、[『Nexus Dashboard User Guide』](#) を参照してください。

ステップ 1 Nexus Dashboard にログインします。

ステップ 2 左のナビゲーションメニューから **[サービス カタログ (Service Catalog)]** を選択します。

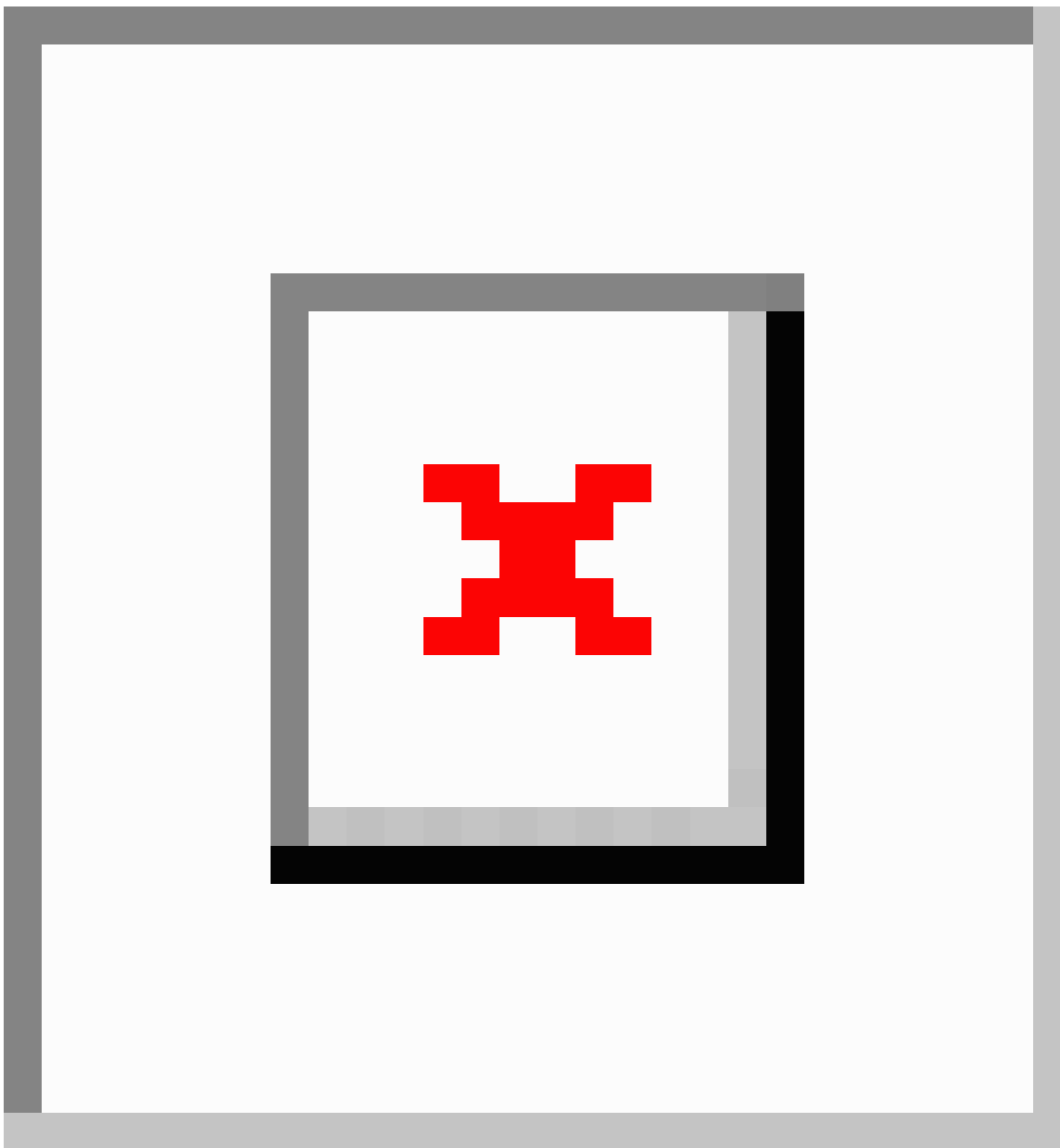
ステップ 3 App Store を使用してアプリケーションをアップグレードします。

- a) **[サービス カタログ (Service Catalog)]** 画面で **[アプリ ストア (App Store)]** タブを選択します。
- b) **[マルチサイトオーケストレータ (Multi-Site Orchestrator)]** タイルで、**[アップグレード (Upgrade)]** をクリックします。
- c) 開いた **[ライセンス契約 (License Agreement)]** ウィンドウで、**[同意してダウンロード (Agree and Download)]** をクリックします。

ステップ 4 新しいイメージが初期化されるまで待ちます。

新しいアプリケーションイメージが使用可能になるまでに最大 20 分かかることがあります。

ステップ 5 新しい画像をアクティブにします。



- a) [サービス カタログ (Service Catalog)] 画面で、[インストール済みサービス (Installed Services)] タブを選択します。
- b) マルチサイト オーケストレータ タイルの右上にあるメニュー (...) をクリックし、[利用可能なバージョン (Available Versions)] を選択します。
- c) [Available Versions] ウィンドウで、新しいイメージの横にある [アクティベート (Activate)] をクリックします。

(注) 新しいイメージをアクティブにする前に、現在実行中のイメージを無効にしないでください。イメージアクティベーションプロセスは、現在実行中のイメージを認識し、現在実行中のアプリケーションバージョンに必要なアップグレードワークフローを実行します。

すべてのアプリケーションサービスが起動し、GUIが使用可能になるまでに、さらに最大20分かかる場合があります。このページは、プロセスが完了した時点で自動的に再ロードされます。

ステップ6 (任意) 古いアプリケーションイメージを削除します。

ダウングレードする場合に備えて、古いアプリケーションバージョンを保持しておくこともできます。または、この手順の説明に従って削除することもできます。

- a) [サービス カタログ (Service Catalog)] 画面で、[インストール済みサービス (Installed Services)] タブを選択します。
- b) マルチサイト オーケストレータ タイルの右上にあるメニュー (...) をクリックし、[利用可能なバージョン (Available Versions)] を選択します。
- c) 使用可能なバージョンのウィンドウで、削除するイメージの横にある削除アイコンをクリックします。

すべてのアプリケーションサービスが起動し、GUIが使用可能になるまでに、さらに最大20分かかる場合があります。このページは、プロセスが完了した時点で自動的に再ロードされます。

ステップ7 アプリを起動します。

アプリケーションを起動するには、Nexus ダッシュボードの [サービスカタログ (Service Catalog)] ページのアプリケーションタイトルで [開く (Open)] をクリックします。

シングルサインオン (SSO) 機能を使用すると、Nexus ダッシュボードで使用したものと同一のクレデンシャルを使用してアプリケーションにログインできます。

MSO アプリケーションを手動でアップグレード

ここでは、Cisco マルチサイト オーケストレータ リリース 3.2 (1) 以降をアップグレードする方法について説明します。

始める前に

- [前提条件とガイドライン \(1 ページ\)](#) で説明している前提条件をすべて満たしていることを確認します。

ステップ1 ターゲットのリリース イメージをダウンロードします。

- a) マルチサイト オーケストレータ アプリケーション DC App Center ページを参照します：
<https://dcappcenter.cisco.com/multi-site-orchestrator.html>
- b) [バージョン (Version)] ドロップダウンから、インストールするバージョンを選択し、[ダウンロード (Download)] をクリックします。
- c) ライセンス契約に同意し、イメージをダウンロードします。

ステップ2 Nexus Dashboard にログインします。

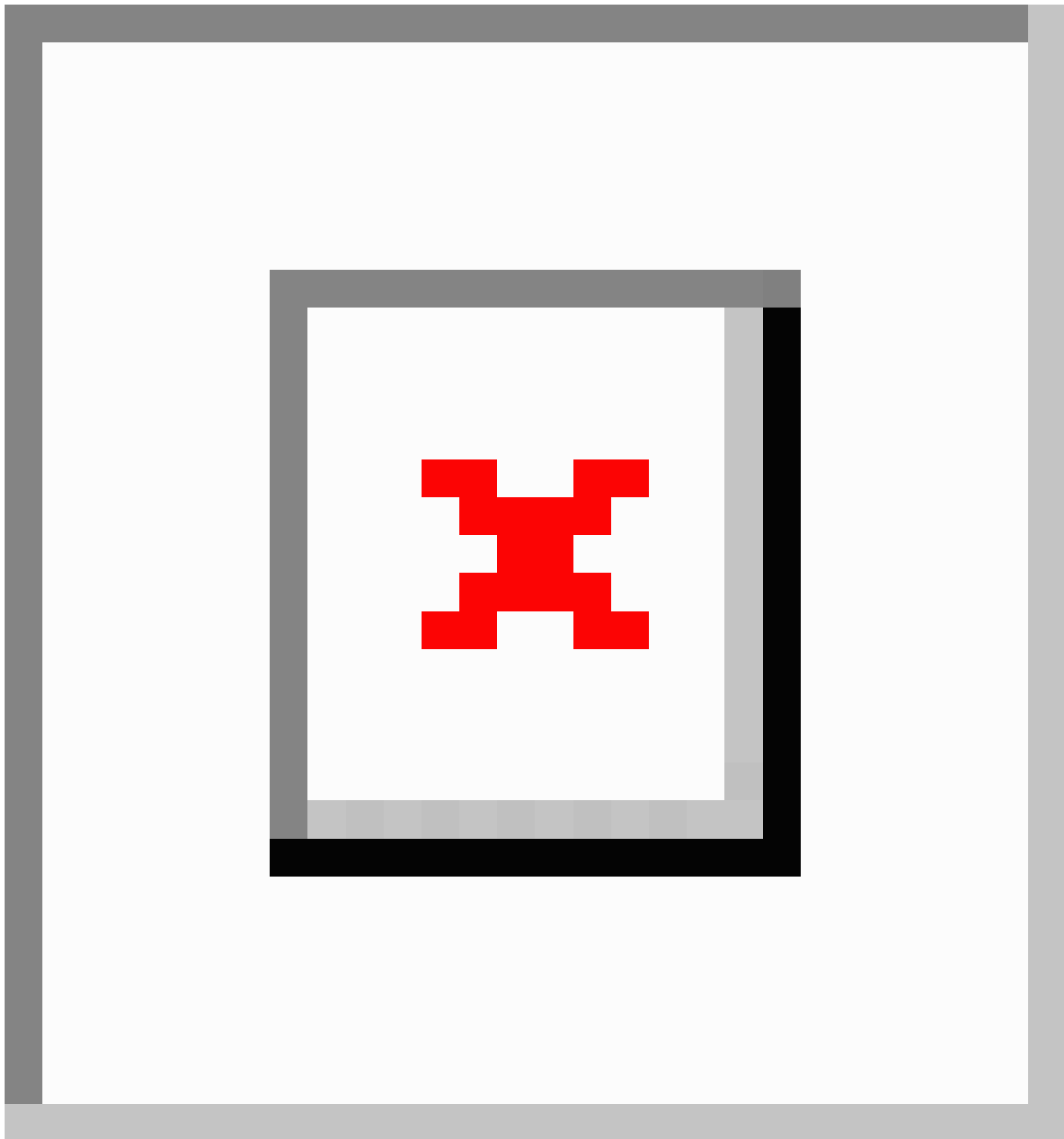
ステップ3 Nexus ダッシュボードにイメージをアップロードします。

- a) 左のナビゲーションメニューから **[サービス カタログ (Service Catalog)]** を選択します。
- b) Nexus ダッシュボードの **[サービス カタログ (Service Catalog)]** 画面で、**[インストール済みサービス (Installed Services)]** タブを選択します。
- c) メインペインの右上にある **[アクション (Actions)]** メニューから、**[アプリケーションのアップロード (Upload App)]** を選択します。
- d) **[アプリケーションのアップロード (Upload App)]** ウィンドウで、イメージの場所を選択します。
アプリケーションイメージをシステムにダウンロードした場合は、**[ローカル (Local)]** を選択します。
サーバでイメージをホストしている場合は、**[リモート (Remote)]** を選択します。
- e) ファイルを選択します。
前のサブステップで **[ローカル (Local)]** を選択した場合は、**[ファイルの選択 (Select File)]** をクリックし、ダウンロードしたアプリケーションイメージを選択します。
[リモート (Remote)] を選択した場合は、イメージファイルのフル URL を指定します。
`http://<ip-address>:<port>/<full-path>/cisco-mso-<version>.aci` のようになります。
- f) **[アップロード (Upload)]** をクリックして、アプリケーションをクラスタに追加します。
アップロードの進行状況バーとともに新しいタイルが表示されます。イメージのアップロードが完了すると、Nexus ダッシュボードは新しいイメージを既存のアプリケーションとして認識し、新しいバージョンとして追加します。

ステップ 4 新しいイメージが初期化されるまで待ちます。

新しいアプリケーションイメージが使用可能になるまでに最大 20 分かかることがあります。

ステップ 5 新しい画像をアクティブにします。



- a) [サービス カタログ (Service Catalog)] 画面で、[インストール済みサービス (Installed Services)] タブを選択します。
- b) マルチサイト オーケストレータ タイルの右上にあるメニュー (...) をクリックし、[利用可能なバージョン (Available Versions)] を選択します。
- c) [Available Versions] ウィンドウで、新しいイメージの横にある [アクティベート (Activate)] をクリックします。

(注) 新しいイメージをアクティブにする前に、現在実行中のイメージを無効にしないでください。イメージアクティベーションプロセスは、現在実行中のイメージを認識し、現在実行中のアプリケーションバージョンに必要なアップグレードワークフローを実行します。

すべてのアプリケーションサービスが起動し、GUIが使用可能になるまでに、さらに最大20分かかる場合があります。このページは、プロセスが完了した時点で自動的に再ロードされます。

ステップ6 (任意) 古いアプリケーションイメージを削除します。

ダウングレードする場合に備えて、古いアプリケーションバージョンを保持しておくこともできます。または、この手順の説明に従って削除することもできます。

- [サービス カタログ (Service Catalog)] 画面で、[インストール済みサービス (Installed Services)] タブを選択します。
- マルチサイト オーケストレータ タイルの右上にあるメニュー (...) をクリックし、[利用可能なバージョン (Available Versions)] を選択します。
- 使用可能なバージョンのウィンドウで、削除するイメージの横にある削除アイコンをクリックします。

すべてのアプリケーションサービスが起動し、GUIが使用可能になるまでに、さらに最大20分かかる場合があります。このページは、プロセスが完了した時点で自動的に再ロードされます。

ステップ7 アプリを起動します。

アプリケーションを起動するには、Nexus ダッシュボードの [サービスカタログ (Service Catalog)] ページのアプリケーションタイルで [開く (Open)] をクリックします。

シングルサインオン (SSO) 機能を使用すると、Nexus ダッシュボードで使用したものと同一クレデンシャルを使用してアプリケーションにログインできます。

MSO アプリケーションのダウングレード

ここでは、Cisco マルチサイト オーケストレータ リリース 3.2 (1) 以降をダウングレードする方法について説明します。

ダウングレードワークフローはアップグレードワークフローに似ており、ターゲットのリリースイメージをアップロードし、以下で説明するように、現在実行中のアプリケーションバージョンを新しいイメージに切り替えます。

始める前に

- リリース 3.2 (1) より前のリリースへのダウングレードはサポートされていません。

以前のリリースにダウングレードする場合は、そのリリースでサポートされているプラットフォームに新しいマルチサイト オーケストレータ クラスタを展開し、古い設定のバックアップを復元する必要があります。リリース 3.2 (1) 以降で作成されたバックアップを古い MSO クラスタに復元することはサポートされていません。

- で説明している前提条件をすべて満たしていることを確認します。 [前提条件とガイドライン \(1 ページ\)](#)

ステップ 1 ターゲットのリリース イメージをダウンロードします。

- a) マルチサイト オーケストレータ アプリケーション DC App Center ページを参照します：
<https://dcappcenter.cisco.com/multi-site-orchestrator.html>
- b) **[バージョン (Version)]** ドロップダウンから、インストールするバージョンを選択し、**[ダウンロード (Download)]** をクリックします。
- c) ライセンス契約に同意し、イメージをダウンロードします。

ステップ 2 Nexus Dashboard にログインします。

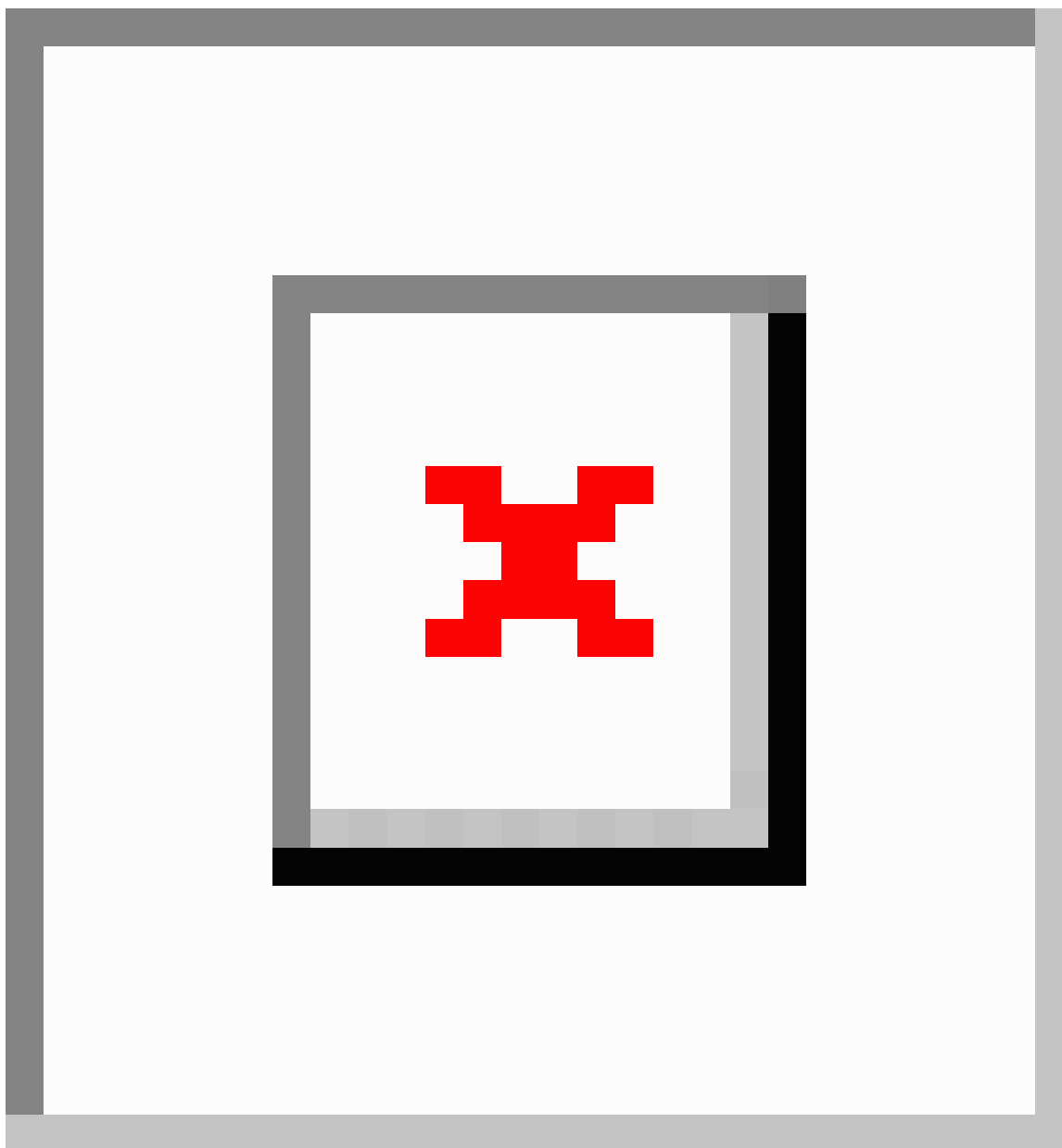
ステップ 3 Nexus ダッシュボードにイメージをアップロードします。

- a) 左のナビゲーションメニューから **[サービス カタログ (Service Catalog)]** を選択します。
- b) Nexus ダッシュボードの **[サービス カタログ (Service Catalog)]** 画面で、**[インストール済みサービス (Installed Services)]** タブを選択します。
- c) メインペインの右上にある **[アクション (Actions)]** メニューから、**[アプリケーションのアップロード (Upload App)]** を選択します。
- d) **[アプリケーションのアップロード (Upload App)]** ウィンドウで、イメージの場所を選択します。
アプリケーション イメージをシステムにダウンロードした場合は、**[ローカル (Local)]** を選択します。
サーバでイメージをホストしている場合は、**[リモート (Remote)]** を選択します。
- e) ファイルを選択します。
前のサブステップで **[ローカル (Local)]** を選択した場合は、**[ファイルの選択 (Select File)]** をクリックし、ダウンロードしたアプリケーション イメージを選択します。
[リモート (Remote)] を選択した場合は、イメージ ファイルのフル URL を指定します。
`http://<ip-address>:<port>/<full-path>/cisco-mso-<version>.aci` のようになります。
- f) **[アップロード (Upload)]** をクリックして、アプリケーションをクラスタに追加します。
アップロードの進行状況バーとともに新しいタイルが表示されます。イメージのアップロードが完了すると、Nexus ダッシュボードは新しいイメージを既存のアプリケーションとして認識し、新しいバージョンとして追加します。

ステップ 4 新しいイメージが初期化されるまで待ちます。

新しいアプリケーション イメージが使用可能になるまでに最大 20 分かかることがあります。

ステップ 5 新しい画像をアクティブにします。



- a) [サービス カタログ (Service Catalog)] 画面で、[インストール済みサービス (Installed Services)] タブを選択します。
- b) マルチサイト オーケストレータ タイルの右上にあるメニュー (...) をクリックし、[利用可能なバージョン (Available Versions)] を選択します。
- c) [Available Versions] ウィンドウで、新しいイメージの横にある [アクティベート (Activate)] をクリックします。

(注) 新しいイメージをアクティブにする前に、現在実行中のイメージを無効にしないでください。イメージアクティベーションプロセスは、現在実行中のイメージを認識し、現在実行中のアプリケーションバージョンに必要なダウングレードワークフローを実行します。

すべてのアプリケーションサービスが起動し、GUIが使用可能になるまでに、さらに最大20分かかる場合があります。このページは、プロセスが完了した時点で自動的に再ロードされます。

ステップ6 (任意) 古いアプリケーションイメージを削除します。

ダウングレードする場合に備えて、古いアプリケーションバージョンを保持しておくこともできます。または、この手順の説明に従って削除することもできます。

- a) [サービス カタログ (Service Catalog)] 画面で、[インストール済みサービス (Installed Services)] タブを選択します。
- b) マルチサイト オーケストレータ タイルの右上にあるメニュー (...) をクリックし、[利用可能なバージョン (Available Versions)] を選択します。
- c) 使用可能なバージョンのウィンドウで、削除するイメージの横にある削除アイコンをクリックします。

すべてのアプリケーションサービスが起動し、GUIが使用可能になるまでに、さらに最大20分かかる場合があります。このページは、プロセスが完了した時点で自動的に再ロードされます。

ステップ7 アプリを起動します。

アプリケーションを起動するには、Nexus ダッシュボードの [サービスカタログ (Service Catalog)] ページのアプリケーションタイトルで [開く (Open)] をクリックします。

シングルサインオン (SSO) 機能を使用すると、Nexus ダッシュボードで使用したものと同一のクレデンシャルを使用してアプリケーションにログインできます。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。